

## Zoomを使った赤十字オンライン講習のご案内

日本では、1年間に7.9万人以上の「突然の心停止」が発生しています。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止が大変重要な現在の状況下であっても、突然の心停止となる傷病者はおられるのが現状であり、このような状況に遭遇した時に、慌てずに傷病者に対して「どのように判断し」、「どのように処置をすべきか」について学んでおくことが、その傷病者の命を救うことに繋がります。赤十字オンライン講習では、インターネットに接続してZoomを使える環境があれば、ご自宅等から講習にご参加いただくことで外出による感染を心配することなく健康や安全等について学んでいただくことができます。受講料は無料です。



—私が講習を担当しています!—  
講習係長 北村幸司

2006年(平成18年)入社 京都市出身  
赤十字救急法・幼児安全法指導員、赤十字  
防災教育事業指導者  
2010年にハイチ大地震救援事業へ派遣、  
2020年2月には横浜港に停泊したダイヤ  
モンド・プリンセス号に救護班のメンバーとして派遣。

趣味は台湾旅行で、何回訪れたか数えきれないくらいの台湾好きですが、コロナ禍で1年くらい行けていません。  
大切な人の命を守るため、健康で安全な生活を送るために赤十字の講習でコロナ禍でも安心して学んでいただけるように、現在は特に新しく立ち上げたオンライン講習を充実できるように取り組んでいます。

オンライン講習タイトル	内容	開催日	時間
知って防ごう認知症	【健康生活支援講習】地域で支える認知症	令和3年1月19日(火)	10:30~11:30
こどもにAEDって使えるの?	【幼児安全法】乳幼児の一次救命処置	令和3年1月19日(火)	14:00~15:00
生活改善10のポイント	【健康生活支援講習】健康な高齢者をめざして	令和3年1月26日(火)	10:30~11:30
あなたは大切な人を救えますか?	【救急法】一次救命処置	令和3年1月26日(火)	14:00~15:00
あなたは大切な人を救えますか?	【救急法】一次救命処置	令和3年2月12日(金)	10:30~11:30
こどもにAEDって使えるの?	【幼児安全法】乳幼児の一次救命処置	令和3年2月12日(金)	14:00~15:00
知って防ごう認知症	【健康生活支援講習】地域で支える認知症	令和3年2月15日(月)	10:30~11:30
みんなで学ぼう応急手当	【救急法】きずの手当	令和3年2月15日(月)	14:00~15:00
生活改善10のポイント	【健康生活支援講習】健康な高齢者をめざして	令和3年2月24日(水)	10:30~11:30
あなたは大切な人を救えますか?	【救急法】一次救命処置	令和3年2月24日(水)	14:00~15:00

※企業や各種団体でも赤十字オンライン講習にお申込みいただけます。必要に応じて上記日程以外でも開催することができますので、当支部救護課講習係にご連絡いただき、社内研修等にご活用ください。

## 講習のご案内

講習名	日程	場所	教材費
救急法基礎講習 (1日の講習)	2月11日(木・休) 13:00~17:30	日本赤十字社 兵庫県支部	教材費1,500円
	2月23日(火・休) 13:00~17:30		
	2月27日(土) 13:00~17:30		
	2月28日(日) 13:00~17:30		

※申込期日は開催日の1ヵ月前までです。

対面での講習については「人と人が触れ合う実技は行わない」、「人工呼吸の吹込みの実技は行わない」、「3密が避けられないグループワークは行わない」という制限を設け、手指消毒や社会的距離の確保、換気等の新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を徹底し、一部のみ再開しております。

講習についての最新情報につきましては、ホームページにて随時発信しています。ホームページにてご確認いただくかお電話にてお問い合わせください。

講習に関するお問い合わせ

Tel.078-241-1499

ホームページ(講習のページ)

<https://www.hyogo.jrc.or.jp/lecture/>

※隔月(奇数月)に発行しています。

日本赤十字社 兵庫県支部  
Japanese Red Cross Society

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目4番5号 TEL.078-241-9889 FAX.078-241-6990

赤十字 兵庫  検索 <https://www.hyogo.jrc.or.jp/>

ひょうごの赤十字 1月号 [2021年1月1日発行]

Japanese Red Cross Society Hyogo Chapter

# ひょうごの赤十字+

2021  
1

いのちと健康を守る活動にご協力感謝いたします。

■ ホームページ  
<https://www.hyogo.jrc.or.jp/>  
■ インスタグラム  
[https://www.instagram.com/nisseki\\_hyogo/](https://www.instagram.com/nisseki_hyogo/)  
■ Facebook  
<https://www.facebook.com/nisseki.hyogo/>



## 令和3年 新春メッセージ



日本赤十字社兵庫県支部  
支部長(兵庫県知事)

井戸敏三

### 危機を乗り越え、ポストコロナの新時代に挑む

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、新型コロナウイルスとの戦いの年でした。しかし、未だ終息にはほど遠い状況です。一方、コロナ禍は社会を変革する契機ともなりました。県民とともにこの危機を乗り越え、地域創生やデジタル化に力強く取り組み、ポストコロナ社会を先導する活力あふれる兵庫をめざします。令和3年は本格的に歩みを進める年とします。

第1は、新型コロナ対策の充実。自宅療養ゼロを堅持しつつ、入院病床や宿泊療養施設を十分に確保します。マスク着用の徹底、検温の実施、外出抑制、感染リスクの高い施設の利用を控えるなど、家庭、職場、施設へウイルスを持ち込まない地道な取組が何より大切です。一人ひとりの行動が大切な家族や友人、仲間の命を守ることに繋がります。是非、ご協力をお願いします。

第2は、兵庫の元気回復。経済の下支えを図りつつ、スタートアップ拠点を活用した起業・創業の支援、新たなサプライチェーンの構築を後押しします。兵庫と東京を専用回線で結び、情報ネットワークにより東京圏からの企業誘致も促進します。農林水産業のスマート化も急務です。「都市部から地方へ」の潮流を捉え、兵庫への呼び込みを図ります。

第3は、安全安心の基盤強化。コロナ禍でも自然災害は待ってくれません。地震・風水害に備える安全な県土づくりを進めます。県民が安心して暮らせる福祉の充実も強化します。

第4は、ポストコロナも見据えた兵庫の未来づくり。「2030年の展望」を具体化する取組を進めるとともに、2050年頃を目標年次とする新ビジョンの策定に向けた検討を加速させます。

我々は、戦災、様々な自然災害など、幾度もの危機を乗り越えてきました。阪神・淡路大震災もそうでした。

再び、県民の叡智を結集して、兵庫の新時代をともに築き上げるため、挑戦していこうではありませんか。

コロナ禍を 乗り越えていく 県民の ひたむきな歩み 夢をめざして

- たんよう赤十字奉仕団が結成されました
- 本社青少年赤十字国際交流事業に参加
- 青少年赤十字オンラインイベント  
～#JRCメンバーと繋がりたい～を開催

## たんよう赤十字奉仕団が結成されました

令和2年10月19日、兵庫県支部では19年ぶりとなる9つ目の特殊赤十字奉仕団「たんよう赤十字奉仕団」が誕生しました。

但陽信用金庫(本店・加古川市)が地域でボランティア活動に取り組む「たんよう赤十字奉仕団」は、全国では初となる、企業主体の高齢者や障がい者の見守りのための奉仕団で、車いすを利用されている方の移動支援や地域のイベントにおける奉仕活動を行います。

11月1日には奉仕団旗贈呈式が執り行われ、兵庫県支部の大久保事務局長から、たんよう赤十字奉仕団の桑田委員長へ団旗が手渡されました。

桑田委員長は、「阪神・淡路大震災の発生直後に涉外担当者らが独居高齢者の見守りを開始して以降、ボランティア活動に携わってきましたが、赤十字マークを背負わせていただくことにより一段と気を引き締めて活動していきたいと思います。また、こういった奉仕活動が社員教育にもつながり、結果的に会社にとってもプラスに働くことを信じています。」と挨拶されました。

大久保事務局長は、「赤十字と連携した奉仕活動を企業で行っていただけるということが非常にありがたい。これを機にどんどん広まってほしい。」と話しました。



日本赤十字社兵庫県支部では、市区町ごとに組織される地域赤十字奉仕団、社会人や学生の皆さんが組織する青年赤十字奉仕団、無線や手話など専門技術を持つ特殊赤十字奉仕団で構成される「赤十字奉仕団」の皆さんが主体となって、災害被災者への支援をはじめ、児童・老人・障がい者福祉施設など様々なところで活躍しています。ボランティアをやってみたい!と思われる方は、下記までご連絡ください。 連絡先: ☎078-241-8922(奉仕課)

いのちと健康を守る赤十字活動は  
皆さまからお寄せいただく活動資金で成り立っています。  
**活動資金にご協力をお願いします**

郵便局・ゆうちょ銀行からご協力いただけます  
〒 口座記号番号:01110-0-1136  
口座加入者名:日本赤十字社兵庫県支部  
※窓口で取扱いの場合、振込手数料は無料です。

### 遺言・相続財産・お香典でのご協力について

「自分が亡くなった後、これまで築いた財産の一部を赤十字に寄付したい」といったご相談や、大切な方を亡くされたご遺族から、「故人の遺産を社会のために役立ててほしい」というお申し出が増えています。日本赤十字社では、このような尊いご意思に応えるために、遺贈(遺言によるご寄付)、相続財産等のご寄付を承っております。

お問い合わせは ☎0120-078-456(振興課)まで

## 本社青少年赤十字国際交流事業に参加

11月15日(日)、本社青少年赤十字国際交流事業に兵庫県内の青少年赤十字加盟校からは10名が参加しました。

例年、海外赤十字・赤新月社の青少年赤十字メンバーを日本に招聘し、各支部での交流プログラムや東京での国際交流集会を実施していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、今年度はWebでの開催となりました。

本事業には、海外から18カ国、国内から41支部の青少年赤十字メンバー等約500名が参加し、「偏見のない世界をつくる」をテーマに、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い蔓延する差別や偏見に目を向け、自分自身がとるべき行動などをお互いに学び、共有しました。また、それぞれの国や各都道府県のふるさと紹介を行うなど、相互理解を深めました。



## 青少年赤十字オンラインイベント

### ～#JRCメンバーと繋がりたい～を開催

11月23日(月・祝)、令和2年度青少年赤十字オンラインイベント～#JRCメンバーと繋がりたい～を開催し、青少年赤十字加盟校から21名の参加がありました。

当日は「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう!～負のスパイラルを断ち切るために～」の講義から、新型コロナウイルス感染症には3つの感染症があり、それぞれが連鎖していることを理解してもらい、その後、各グループに分かれて振り返りシートを活用しながら、新型コロナウイルスに対する知識や考え方などを共有し、コロナ禍でも実行できる活動を計画しました。今回は活動計画を作成したところで終わりましたが、令和3年2月に開催を予定している兵庫県青少年赤十字協議会例会において、計画を基に活動していくこととしています。また、昼食は画面を通して参加者全員で非常食を食べ、親睦を深めました。

兵庫県支部主催として初めてのオンラインイベントでありましたが、参加者は積極的にコミュニケーションを図るなど、新しいスタイルにも馴染み、「他校の人とたくさん話せてよかった」、「またオンラインでもしてみたい」などの感想がありました。

